



福岡医発第 1948 号 (地)
平成 27 年 10 月 19 日

各医師会長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公印省略)

日本医師会・米国研究製薬工業協会 (PhRMA)共催シンポジウムの開催について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今般、標記の件につきまして、日本医師会より別添の通り開催通知が参りましたので、ご知らせいたします。

本シンポジウムでは、「日米における災害時／緊急時の医療体制のあり方を考える」をテーマとされ、日本各地で起こり得る大規模な自然災害や、2020 年東京オリンピックをはじめ世界的な国内イベントでの災害など、想定される「緊急時」における国家レベルでの医療体制、関係機関の連携のあり方について、米国での事例を紐解きながら、日米双方の知見や取り組み、課題を共有し、今後の施策を探ることを趣旨とされております。

つきましては、貴会におかれましても本件にご了知いただくとともに、貴会会員への周知についてご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、申込方法につきましては、貴会でお取り纏めの上、10 月 26 日 (月)までに、本会地域医療課へお申込いただきますようお願いいたします。

【日本医師会・米国研究製薬工業協会 (PhRMA)共催シンポジウムの開催について】

- ・日 時 平成 27 年 11 月 18 日 (水) 14 : 00 ~ 16 : 30
- ・会 場 ヒルトン東京 大和の間 (東京都新宿区西新宿 6・6・2)
- ・対 象 各都道府県医師会役員、JMAT 関係者 等
- ・申込方法 添付の申込用紙にて、F A X またはメールで本会までお申込みください。
FAX : 092-411-6858 Mail : fpma-chiiki@fukuoka.med.or.jp
- ・受付締切 10 月 26 日 (月)
- ・プログラム 別紙参照

小郡三井医師会より

救急災害医療担当理事 吉武靖博
会長 廣瀬真恵

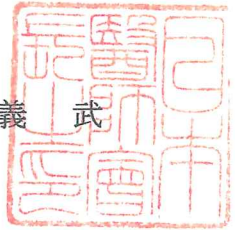
日医発第 656 号 (地 I 207)

平成 27 年 10 月 8 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

横 倉 義 武



日本医師会・米国研究製薬工業協会 (PhRMA) 共催シンポジウムの開催について

平素より、本会国際活動にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて今般、昨年に引き続き、本会及び米国研究製薬工業協会 (PhRMA: ファーマ) による共催シンポジウムを開催することといたしました。開催日・場所は、別添のプログラムに示しますとおり、2015 年 11 月 18 日 (水) 14 時よりヒルトン東京にて予定しております。

今回のシンポジウムでは、「日米における災害時/緊急時の医療体制のあり方を考える」をテーマとし、日本各地で起こり得る大規模な自然災害や、2020 年東京オリンピックをはじめ世界的な国内イベントでの災害など、想定される「緊急時」における国家レベルでの医療体制、関係機関の連携のあり方について、米国での事例を紐解きながら、日米双方の知見や取り組み、課題を共有し、今後の施策を探ることとしております。

つきましては、貴会より、担当理事のご出席を賜りたくお願い申し上げます (本会にて担当理事 1 名分の旅費を負担いたしますので、別紙に必要事項をご記入の上、10 月 28 日 (水) までにお送りください)。また、貴会管下の郡市区医師会や JMAT (日本医師会災害医療チーム) 関係者や郡市区医師会等へのご案内につきましても、ご高配のほどお願いいたします。



第三回日本医師会-米国研究製薬工業協会(PhRMA)共催シンポジウム

【開催趣旨】

東日本大震災を始め、今後も日本各地で起こり得る大規模な自然災害、2020年東京オリンピックや、その他の日本国内で開催される世界的規模のイベントでの事故やアクシデント発生など、想定される「緊急時」における国家レベルでの医療体制、医療を担うべき関係機関の連携のあり方について、「9.11」、「ハリケーン・カトリナ」、「ボストンマラソン爆弾テロ事件」などを経験し、これを緊急時の医療提供システム策定に反映させてきた米国での事例を紐解きながら、日米双方の知見や取り組み、そして課題を共有し、今後の施策を探る場とする。

【テーマ】「日米における災害時/緊急時の医療体制のあり方を考える」

【開催概要】

日時:11月18日(水)14:00～16:30

会場:ヒルトン東京(新宿)、大和の間

対象:

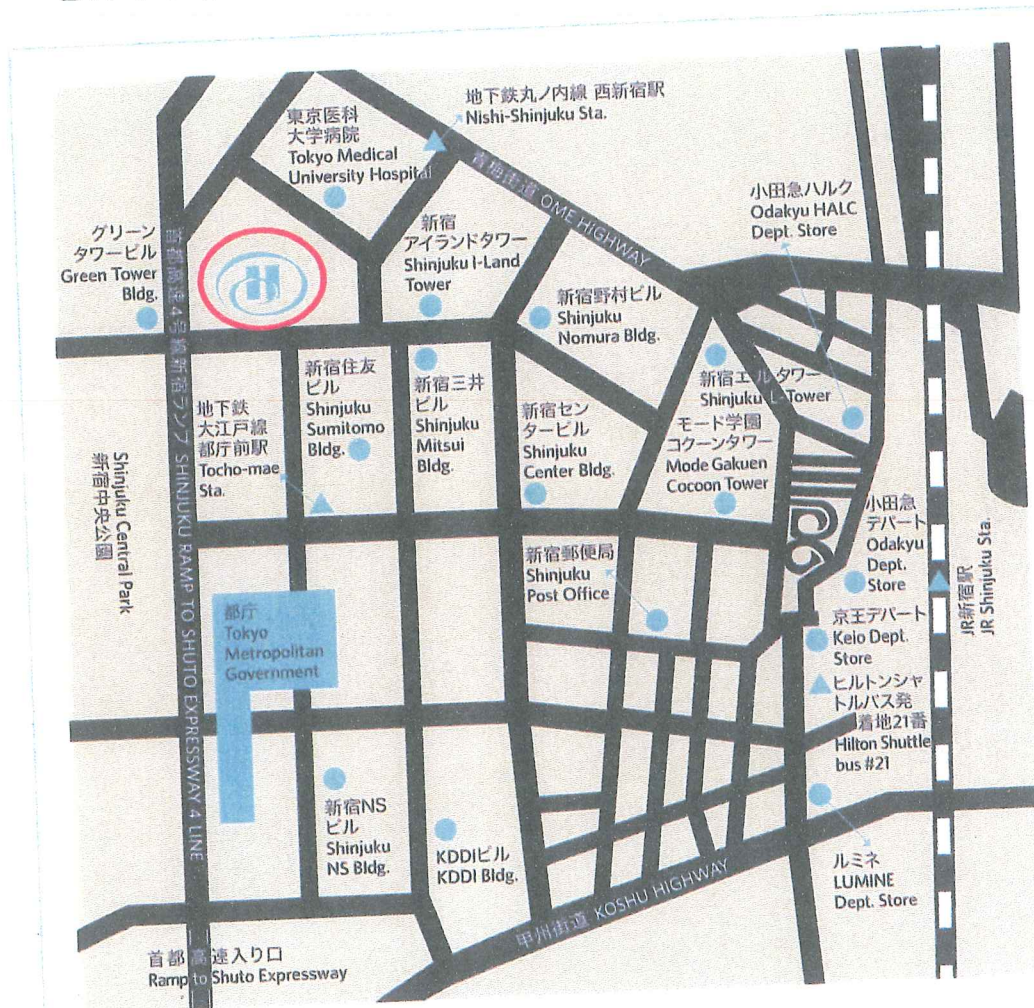
- 1) 各都道府県医師会役員
- 2) JMAT(日本医師会災害医療チーム)関係者
- 3) DMAT(厚生労働省管轄 災害派遣医療チーム)関係者
- 4) 被災者健康支援連絡協議会構成団体(医療、介護、保健関係)
- 5) 関連学会関係者
- 6) 官公庁
- 7) 国会議員
- 8) 日本薬剤師会加盟メンバー
- 9) 製薬企業・・・PhRMA 加盟企業メンバー・他
- 10) 日本医薬品卸売業連合会(JPWA)加盟企業メンバー
- 11) 患者団体/患者支援団体
- 12) 報道関係者

・タイムテーブル

13:30	受付開始
14:00	開会
14:00-	開会ご挨拶: 日本医師会 横倉義武会長
14:10-	第一部 基調講演
14:10-14:30	「我が国の災害対応について(仮)」 内閣府 大臣官房審議官
14:30-14:35	指定発言 厚生労働省医政局救急・周産期医療等対策室
14:35-14:55	「JMAT を中心とする日本医師会の災害医療への取り組みについて(仮)」 日本医師会 石井正三 常任理事
14:55-15:15	「大規模災害、事件を契機とする米国政府による緊急医療システム構築～現状について(仮)」 元・FEMA C.O.O. ケン・バーリス氏
15:15-15:35	「米国 Health Care Ready(旧 RxResponse)の事例紹介～社会的な貢献について(仮)」 Health Care Ready Director of Programming ニコレット・A・ルーサント博士
15:35-15:45	休憩(場面転換)
15:40-16:25	第二部 パネルディスカッション モデレーター: 日本医師会 石井正三 常任理事 PhRMA アイラ・ウルフ日本代表 パネリスト: ※第一部登壇の演者 4 名 (石井常任理事はパネリストも兼任)
16:25-	閉会挨拶: PhRMA 在日執行委員会 トニー・アルバレス委員長
16:30	閉会

日本医師会・米国研究製薬工業協会 (PhRMA) 共催シンポジウム 会場案内 (2015年11月18日(水) 14:00~16:30)

場所：東京都新宿区西新宿 6-6-2
ヒルトン東京（新宿）、大和の間



Location of Hilton Tokyo ヒルトン東京 交通のご案内

- 丸ノ内線「西新宿」(C8出口)から徒歩2分／大江戸線「都庁前駅」から徒歩3分
JR・私鉄・地下鉄「新宿駅」(西口)から徒歩10分
- お車の場合は中央高速(新宿ランプ)又は首都高速4号線(新宿ランプ)が便利です。
- ホテル専用シャトルバス(無料)が、新宿西口京王デパート前のバス停21番乗り場から毎日循環運行しております。
- 2-minute walk from Tokyo Metro Marunouchi Line Nishi-Shinjuku Station
3-minute walk from Toei Oedo Line Tocho-mae Station
- Complimentary shuttle bus service from/to Shinjuku Terminal Station
- Airport Limousine Bus from Narita and Haneda International Airport which stops directly at the hotel entrance

福岡県医師会地域医療課 行
(FAX : 092-411-6858)

日本医師会・米国研究製薬工業協会 (PhRMA)共催シンポジウム

(2015 年 11 月 18 日)

申 込 用 紙

医師会

氏 名	役 職

※本表に書ききれない場合は、コピーしていただきますようお願いいたします。